

令和5年度 第2回加西市総合教育会議 会議録

1 開会日時 令和5年10月23日（月） 15時30分

2 閉会日時 同 日 16時50分

3 開催場所 加西市役所 1階多目的ホール

4 出席委員

市 長	高 橋 晴 彦
教育長	菅 野 恭 介
教育長職務代理者	沼 澤 郁 美
委 員	楠 田 初 美
委 員	中 川 和 之
委 員	深 田 英 世

5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

政策部長	藤 後 靖
政策部 政策課長	柿 本 尚 一
政策部 政策課係長	岩 野 裕 之
教育委員会事務局 教育部長	千 石 剛
市参事（学校再編担当）	伊 藤 勝
教育委員会事務局 教育総務課長	中 井 孝 浩
教育委員会事務局 学校教育課長	小 坂 卓 司
教育委員会事務局 こども未来課長	阿 木 博 信
教育委員会事務局 生涯学習課長	北 島 悦 乃
教育委員会事務局 図書館長	伊 藤 陽 子
教育委員会事務局 総合教育センター所長	工 藤 憲 人

6 傍聴者 一般：6名、報道機関：0名

7 協議事項

（1）令和6年度予算について

（2）学校再編に関するアンケート調査の回答結果について

8 会議内容

別紙のとおり

会議録

次第

- 1 市長挨拶
- 2 教育長挨拶
- 3 協議事項

(1) 令和6年度予算について

〔意見・質疑〕

委員 給食費無償化について、これまでは市外の学校に通う子どもは対象ではなかったが、今回保護者からの要望があったことによって対象にしようとしているのか。

市長 公平性の観点から9月補正にて対応している。

委員 給食費無償化は令和4年度から実施しているので、遡すべきでは。

市長 当時の制度設計であるため、遡及はできない。

市長 埋蔵文化財整理室に保管している文化財が年々増えてきているが、保管年限等によって廃棄・処分はできないのか。

事務局 法律上難しい。

市長 図書館の蔵書について、きちんと計画を立てて進めているのか。

事務局 紙の図書は、施設における蔵書の容量上、約20万冊を想定しており、現在20万冊を少し超えている状況である。その中で、新しい図書の購入に合わせ、古い図書との入れ替えを行っている。

市長 図書館内のテラスの利用状況はどうか。

事務局 真夏や真冬は少ないが、季節の良いときには利用がある。

市長 教育予算は、できるだけ尊重させていただくが、これだけの件数があれば難しいところもあるのでご了承いただきたい。

また、通学バス等の通学対策について、別途協議させていただきたい。

市長 保育教諭の加配は国の基準通りにできているのか。現場が忙しいなか、充実した保育教育のため増員を検討してはどうか。

事務局 保育士の配置については国の基準どおりにできている。

委員 なかなか人材が集まりにくい状況ではあるが、加配を増やす支援していただくことは手厚い教育に繋がるため、とてもありがたい。

委員 加西STEAMの取組や英語教育等、子どもの支援に力を入れていただきたい。また、老朽化している社会教育施設の改修や公民館活動の充実等、人生100年時代を見据えた生涯学習の事業についても支援をお願いしたい。

委員 加西STEAMの推進、学力の向上（基礎の定着）、国際的な人材の育成等、教育には

できるだけお金をかけてバックアップしていただきたい。

また、ＩＣＴを活用した教職員の働き方改革に向けた人材確保の検討、総合教育センターの青色パトロールカー更新についてもお願いしたい。

委員 教職員の働き方改革について、今まで主に小中学校を検討してきたが、保育士も大変であると思う。ＩＣＴ環境を充実させて効率的な業務を行い、負担軽減を図ることによって、保育士の募集も集まるのでは。

市長 幼児教育が一番大事であるとも聞いているので、検討していきたい。

委員 教育の効果はすぐには見えないが非常に大事であるため、予算を手厚くしていただきたい。

市長 市民会館と中央公民館との関係性について、同じような事業も多いため、疑問に思う。効率化の観点から整理をする必要があるのでは。検討していきたい。

市長 グラウンドゴルフ場の整備に関する市民の要望が多い。また、教育委員会の今後の予算要求について、学校再編の方向性も見据えながら検討していきたい。

教育長 教育委員会では現場に人材を手厚く配置し、可能な限り良い教育を行っていくことに力を入れているが、だんだん成り手が少なくなってきたおり、人材確保に苦慮している現状である。人材を充実・確保していくことについて、今後お知恵をいただきたい。

市長 タウンミーティングにて、ＰＴＡ会費から一部学校備品等の購入に充てている旨を聞いた。本来であれば市が対応すべき内容なので、対処していく。

委員 市内の公民館まつりでは、子どもたちがボランティアを行うようになり盛り上がっている。今までは高齢者の施設というイメージがあったが、間口が広がってきていると感じる。そのため、公民館の施設整備についてお願いしたい。

(2) 学校再編に関するアンケート調査の回答結果について

〔意見・質疑〕

市長 今後、１１月にタウンミーティングで結果を報告させていただき、地域の方から意見を聞いていくが、議論までは難しいと思う。１２月末から１月にはアンケート結果等を踏まえて素案を作成する。そして、１月末から２月の中旬にかけて、保護者・地域の方を集め、素案の意見を伺うことを予定している。

アンケート結果をみると、保護者の方は統合を望まれているような結果になっている。今後、様々な意見が出てくると思うが、素案を発表する前には総合教育会議とは別に教育委員の皆様と非公開で協議させていただきたい。

教育長 小中一貫校という方向性について、各中学校区の小中学校を小中一貫校にできれば良いのだが、加西市の場合は、将来的に１クラスとなる中学校が多いため、現実的に難しい。また、小中一貫校が良い仕組みであるのであればもっと増えていると思うが、現実はそのではないため、慎重に判断すべきと思う。

委員 小中一貫校への視察に行ったが、地域によってやり方や方向性が全く異なる。小中一体型の校舎にすることが大事で、子ども達が自由に交流できる雰囲気を作らないといけない。相当な覚悟で検討する必要がある。

教育長 先日、北条の小中学生の交流会があった。中1ギャップには対処しないといけない。ただ、不登校生の原因として、中1ギャップがあるからといって学校に行けなくなるというものではないのではと思う。

委員 奈良市のある学校では、中学校の校舎で小学1・2年生が勉強しており、中学生が小さい子の面倒を見ることによって姿勢が変わってきたという成果があった。

委員 今回、中学生へのアンケートも行っており、子どもたちの意見が聞けたということは非常に重要であり、部活の充実も目指してほしい。

教育長 北条中学生の部活動の満足度が約75%もあるが、他校は半分もない。原因としては、入りたい部が無いという部活動の種類の差が影響しているのでは。

また、文科省による部活動の社会委託については殆ど具体的な動きがない状態であるので慎重に検討する必要がある。

委員 先日下里小にて行われた、世界的指揮者である西本智実氏によるプロの指導がとても素晴らしかった。こども狂言塾の野村萬斎氏もとても素晴らしい指導をしており、子ども達への影響も大きかったと思うが、どうして止めることになったのか。

市長 人数が少なく、お金がかかり過ぎるため判断した。チケットも売れない状態であり、取組も広がっていかなかった。加西能・狂言塾に特化せず、地域の伝統文化の継承に代えさせていきたい。

委員 以前、日ノ本学園のバレエ部をお招きした際、所作や指導にとっても満足した。身近な指導者でも子どもたちにとって大きな影響を与えることはできると思う。

4 その他